令和 8 年 7 月

お客さま 各位

釧路信用金庫

令和 7 年度地域密着型金融の取組状況について

令和 7 年度地域密着型金融の取組状況について以下のとおりご報告いたします。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

（１）創業期・新規事業展開期における支援

◎新規創業支援について、全店での取扱は 53 件、258 百万円の実績となりました。

◎新事業展開時における各種補助事業等の申請支援や、公的機関の支援コーディネートにも積極的に取り組んでおります。

（２）成長期における支援

◎成長期における支援について、ビジネスマッチングを中心に以下の取組みを行いました。

①令和 7 年 11 月 3 日・4 日の 2 日間、北海道旧本庁舎(赤レンガ庁舎)広場において、北海道信用金庫協会主催のイベント、「しんきん赤レンガマルシェ 2025」が初開催され、事業者とともに参加しました。

本イベントでは北海道の信用金庫が一同に会し各事業者の出店をサポート、地元でしか買えない逸品が勢ぞろいしました。当日の様子は、テレビでも放送され、晴天の休日、観光スポットということも相まって会場は国内外客で賑わうこととなりました。

②令和 8 年 1 月 22 日、釧路商工会議所と釧路市の３者連携事業の取組みで、「販路・磨き上げ研究会」を実施しました。

令和７年度の商談会では、都内や地場スーパー等の複数のバイヤーを招き、参加者は自社製品を持ち寄り試食を交えアピール、当金庫職員も同席し事業者とともに釧路の特色ある商品を訴えかけました。

（３）経営改善期における支援・事業再生期における支援

◎営業店と企業支援グループが連携した企業支援活動

営業店や審査部に設置されている企業支援グループが中心となり改善計画の進捗状況の管理や経営指導・アドバイス等を行いました。

◎認定支援機関との連携

経営改善支援の実効性向上を図るため、認定支援機関との連携により経営改善計画策定支援事業の活用に取組みました。

（４）事業承継期における支援

一般社団法人しんきん支援ネットワークと連携し、事業承継個別相談を開催し経営者の皆様の事業承継の準備やタイミング、 後継者不在、第三者への事業譲渡、売却または買収など様々な相談に対応いたしました。またM&Ａ支援については信金キャピタル株式会社と連携した支援も実施しております。

２　地域の面的再生への積極的な参画

（１） 地域全体の活性化、同時的・一体的な「面」的再生への 取組

創業 100 周年記念「夏 涼しいまち 釧路」観光応援団事業として令和 7 年 4 月 1 日から 9 月 30 日まで「＃笑えるくらい涼しいまちフォトコンテスト」を開催し、316 点もの作品を応募いただきました。

令和 7 年 12 月 5 日には審査会を開催し受賞作品 10 作品が決定、令和 8 年 3 月 27 日に表彰式を開催し、受賞の栄誉を称えると共に、当金庫オリジナルの「＃笑える くらい涼しい」ポスターをお披露目しました。

この取組みは、「夏 涼しいまち 釧路」観光応援団事業として実施しており、釧路の魅力を伝える地域活性化を目的とした活動の一環となります。

（２）地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域の活性化に向け、以下の取組みを推進しました。

◎お取引先に対して各種補助事業などの情報提供及び支援を行いました。

◎釧路しんきん地域貢献表彰制度において、「地域貢献奨励賞」として、以下の方々を表彰しました。

（１）一般社団法人ドット道東

2019 年創業。【理想を実現できる道東】という企業ビジョンを掲げ、“道東”という観点からアイデンティティを確立し、地域ブランド、人材の確保、域内循環を高めること等の様々な地域活性化事業を展開。クラウドファンディング、交流会、イベント等の手法を通じ、地公体、地元企業、地元団体等を側面から支援する。当地が持つ潜在的な魅力をブランド化・再発見することにより、シビックプライド・郷土愛を育むことを目指している。そのオリジナリティあふれる活動内容と、道東地区への地域貢献性、今後の団体としての発展性が高く評価され受賞となりました。

（２）チーム「つなくる」

2012 年、教育大学釧路校地域学校 3・4 年生の境研究室学生にて発足。2011 年の東日本大震災後、北海道の東部でも防災教育が推進されることになり、学生への防災教育の普及活動を行う。津波実験装置（つなくる）、寸劇、冊子配布、ビデオ、最近では人形劇等の多様なコンテンツで地域の防災意識の向上に努める。メンバーは教育大学の学生であり、卒業生の多くは学校の教員となることから、防災意識に主体的に取り組む教員の人材育成の場としても位置付けている。若年者に対する防災意識啓発・学習活動の継続性、地域貢献性、啓発手法の独自性等が高く評価され

受賞となりました。

（3）鶴居村タンチョウ愛護会

1985 年発足。国の天然記念物であるとともに、鶴居村の地域資源ともいえるタンチョウと地域とが共生できる地域づくりを念頭に、タンチョウの生息状況の把握、来訪者へ普及啓発、マナー啓発、環境整備活動を行っている。40 年に亘る継続的な活動実績、地域資源保護活動という地域貢献性が高く評価され受賞となりました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

◎「金融教育講座」の実施

◎ ディスクロージャー誌、ＰＲ誌による積極的な情報発信

平成 5 年より「ディスクロージャー誌」を発行し、当金庫の業務や職員の紹介、地域情報などを発信しています。

◎ ホームページによるタイムリーな情報発信

商品情報やセミナーの開催情報など、様々な情報をわかりやすく発信しています。

以　上